

虎の巻

「電話だけで、
探偵社から料金を
聞き出す方法」

赤井探偵事務所 代表取締役
継野 勇一

マル**秘**テクニックを公開

- ①電話をかける前の心構え
- ②具体的な電話質問テクニック
- ③電話相談の注意点
- ④探偵を選ぶ基準はあるのか？



【虎の巻】電話だけで、探偵社から料金を聞き出す方法

<目次>

- 1、電話をかける前の心構え
- 2、具体的な電話質問テクニック
- 3、電話相談の注意点
- 4、探偵を選ぶ為の基準はあるのか？

< 1. 電話をかける前の心構え >

探偵社に電話をかける時は、最低3社には電話してみて、対応の違いを比べてみましょう。一社だけで、探偵社を決めるのは危険です。

そして、電話の場合も、探偵の相談員にペースを握らせず、予め用意しておいた質問をしながら、探偵社の対応を注意深く観察する事をお勧めします。

探偵社の方としては、しきりに来社を勧めてくると思いますが、最低3社に電話するまでは、探偵社を訪問しないで下さい。

ある程度、電話をかけ終わったら、各探偵社の料金の違いや、対応の善し悪し等を冷静に分析してから、来社するのが良いでしょう。

探偵社を、訪問しても、電話の時に聞いた料金と全然違うような料金を提示してくる場合もあります。その場合は、すぐに帰りましょう。

誠実な対応ができないような探偵社が、誠実に調査してくれるとは思えません。

探偵社の営業マンは、口が上手いので、一見、あなたの言う事を親身になって聞いてくれるかもしれません。

しかし、「口の上手さ」に惑わされず、常に冷静に物事を見極めて下さい。

探偵選びで重要な要素は、「料金」、「調査力」、「誠実な対応」の3つです。

これさえ忘れなければ、探偵選びを間違える事はないでしょう。

それでは、次項から具体的なテクニックを説明していきたいと思います。

< 2. 具体的な電話質問テクニック >

■テクニックその1

・電話で、具体的な料金を知る方法。

探偵社は、できるだけ具体的な料金を伝えずに、とにかく来社させようとする所が多いでしょう。特に、高額な探偵社程、電話で料金は言いたくないものです。

こういった探偵社に、料金を聞こうと質問したところで、
「来社しないと、見積もりは難しい」等、うまくはぐらかされます。

では、どういう質問をすれば、料金を知れるのでしょうか？
答えは簡単で、「思いつき具体的な質問」をすればいいのです。

具体的には、下記のような質問です。

「旦那の浮気調査をお願いしたいのですが、場所は、東京都渋谷区にある会社からのスタートで」
「夕方5時～夜10時までの5時間の調査を3日間、調査員2（3）名体制で、車両も使って調査した場合の料金は、いくらですか？」
「調査員は途中で入れ替えるのではなく、常時使って下さい」

というように、張り込み場所、時間数、日数、人数、移動手段を言ってしまう。

探偵社によっては、

「張り込み場所によっては、3名で足りるかどうかわかりませんし……」
「もっと詳しい話を聞かないと料金は出せない」

等、言ってくるかもしれませんが、

「とにかく、今の条件で料金を出してみてください」

と粘って下さい。これだけ、具体的に言われたら、探偵としても、料金を言わざるを得ませんが、まだ注意が必要です。

探偵社によっては、電話で安い料金を伝えておき、来社させてから、

「電話の料金では調査が出来ない」

と言い出す探偵社もあります。

「今、お聞きした料金で、ちゃんと調査してくれるのですね？」

と念押ししましょう。

■テクニックその2

- ・調査する時の調査人員について質問する。

高額な探偵社ほど、たくさんの人員を使いたがる傾向にあり、人数を5～6人くらいを提案してくるかもしれません。

人員を増やせば増やす程、金額を釣り上げ、探偵社が儲かる訳ですから、当たり前ですね。

お客様の立場からすると、少なければ少ない程、料金が安くなる訳ですから、なるべく少ない人数で済ませた方がいいでしょう。

しかし、さすがに1名で調査となると、失敗のリスクが大きすぎて、依頼者にとってもメリットがあるとは言えません。コストと調査力の兼ね合いからいくと、通常の浮気調査であれば、2～3名ではないかと思います。

もちろん、中には、多人数での調査が必要なケースもありますが、下記のようなケースです。

- ・裁判所からの尾行等、たくさんの出入り口がある建物からの尾行調査
- ・証拠が取れるチャンスが少なく、一回の尾行を確実に成功させなければいけない調査

上記以外の調査では、大人数の調査は、必要ありません。探偵社が、どうしても、調査員が必要だと言い出すのであれば、納得のいく理由を聞きましょう。

■テクニックその3

- ・下請け業者を使っているかどうかを質問する。

下請けを使っている探偵社は、かなり多いです。一般的な探偵社であれば、下請けを使うと、どうしても調査力は落ちます。

もちろん、中には、比較的、優秀な下請業者がいる事も事実ですが、そういった下請け業者は、ごく一部です。

優秀な下請け業者は、弁護士からの依頼等、自社の業務で、手いっぱいなので、探偵社の下請けの仕事は、あまりしない所が多いでしょう。

なので、なるべく、下請けを使わない探偵社が良いでしょう。

■テクニックその4

・その他の質問

料金だけでなく、他にも聞いておくべき重要項目はいくつかありますが、その中でも、「調査力」については、是非質問してみてください。

しかし、探偵社の営業マンは 皆、口が上手なので、どこに聞いても、「うちは調査力があります」と、答えるはずです。

また、探偵社の調査員も、人によって調査力にバラつきがありますので、外から、調査力を知る事は、非常に難しくなっています。

確実に判るのは、そこの探偵社が、どのような調査機材を所有しているかという点ぐらいかと思いますが、調査機材について質問しても、持ってない機材まで「持ってる」と言い張る探偵社もいますから、当てになりません。

なので、どうしても、調査力を重視したい場合は、大手や零細ではなく、中堅クラスの探偵社に出向いて、そこの探偵社が、どんな調査機材を持っているのか、実際に見せてもらってください。

特に、探偵社の代表者自らが、機材オタクのように、調査機材が好きな探偵社だとさらに良いでしょう。

さらに、

「この機材を私の調査では確実に使って下さい」

と言って、探偵社が了承してくれれば、完璧です。

依頼者の方で、ここまで言ってこられるケースは、ほとんどありませんが、弊社では、過去に一度だけありました。

< 3. 電話相談の注意点 >

■ 注意点その1

- ・ やたら、来社を急かせる、強引な営業に注意！

高額な料金の探偵社ほど、強引な営業で、来社を急かせる事が多いです。

中には、「今日、来社を決めないと、調査ができません」等、来社する事を迫ってくる探偵社もありますが、やたら、来社を急かせる探偵社は要注意です。

■ 注意点その2

- ・ 「調査員を入れ替える」という表現に注意

例えば、8時間の調査を3名で調査して貰う場合、「8時間、ずっと3名体制で調査してくれるのかどうか」、注意して下さい。

質問をして、「人数を入れ替えて調査する」等の表現をしたら要注意です。探偵社が、8時間3名で調査すると言っても、人数を入れ替えると発言した場合は、「常時3名」で調査するとは限りません。

このような、言葉のトリックにも常に意識しましょう。

■ 注意点その3

- ・ 同業者の悪口ばかり言うかどうかに注意！

探偵業界には、驚くほど、同業者の悪口を言う探偵社があります。そういった業者は、料金もかなり高額で、他社と料金比較されると、確実に負けてしまうので、ひたすら、他社の悪口を言っているようです。

当然のごとく、そういった業者は、オススメはできません。

< 4. 探偵を選ぶ為の基準はあるのか? >

■間違った選び方その1

・調査業協会に加盟していたら安心か?

正直、どこの調査業協会に加盟していても、悪質な探偵社はいます。なので、調査業協会に加盟しているから安心、という事は全く言えません。

中には、仲良しグループだけで構成された協会もあるでしょう。

あえて、どこの調査業協会が良いか挙げるとすると、「(社)日本調査業協会」に加盟しているかどうかという基準はあります。

(社)日本調査業協会の加盟員（もしくは、調査業協会自体が加盟員である協会）であれば、苦情処理等の問題で、比較的、マシなのではないかと思えます。

しかし、これも、前述の通り、決定的な要因ではありません。

■間違った選び方その2

・綺麗なホームページだったら安心か?

高額な料金を請求する探偵社ほど、綺麗なホームページを作成しがちです。また、いかにも、信頼できそうな雰囲気も醸し出しているでしょう。

しかし、ホームページの出来と、そこの探偵社の良し悪しは全く関係ありません。綺麗なホームページに惑わされないようにしましょう。

もちろん、綺麗なホームページで、且つ、きちんと仕事をする優秀な探偵社もありますが、探偵社の判断にはまったく関係ありません。

■間違った選び方その3

・テレビやメディア出演していたら安心か?

弊社も、多数のテレビ出演や雑誌掲載をされてきましたが、意外にも、メディアに掲載されるのは簡単です。

特に、雑誌は、お金さえ払えば、記事として掲載してもらう事ができます。安い媒体だと、5万円程度を支払う事で、有名人から対談をしてもらい、記事掲載をしてもらう事ができます。

残念ながら、悪質な探偵社ほど、メディア出演や、有名人を使ったり、信頼させるテクニックを多様します。弊社も、メディア戦略は行っているのですが、この件については、あまり書きたくないのですが、これが業界の現実です。

■間違った選び方その4

・大手だから安心なのか？

興信所業界には、大手の探偵社が、高い広告料でお客様を集め、中小の探偵社に下請けに出すという構造があります。

なので、結局、実際に調査しているのは、中小の探偵社だったりしますので、大手だから安心というのは完全な幻想です。

また、料金も、大手の探偵社の方が一般的には高くなります。

大体、大手の探偵社は、1件100～150万円程度で依頼を受け、下請け業者に20～30万円程度で、流したりする事が多いようです。

元請けと下請けの差額が大きいのは、広告料が他の業界よりも高くつくからです。以上、いろいろと述べましたが、探偵選びでは、これがあれば、絶対に大丈夫、という目安は何もありません。

基本的には、「調査力が高く、料金が良心的で、誠実に対応してくれる」という基準で、自分で探すしかないでしょう。

その為には、安易に探偵社を訪問するのではなく、まずは何社か電話してみて、

料金システムや、強引な営業をするかどうか？

営業担当の人間が、信頼できそうかどうか？

等、さまざまな部分で比較検討するしかないでしょう。

また、探偵社が、料金を釣り上げる手口として、よく使われるのが、「調査員の水増し」等があります。

他にも、ありとあらゆる手段で、料金を釣り上げてくる場合がある為、これらの対策法については、弊社の「興信所の選びかたマニュアル」

というWEBサイトに、詳細が書かれていますので、こちらも参考にして下さい。

タイトル：興信所の選び方マニュアル

URL：<http://www.akai-top.com/>

内容：興信所の料金相場や、悪質探偵の手口、探偵トラブル情報をまとめた、情報サイト

また、本書の内容に関するご質問は、下記までお願いします。

著者：Akai探偵事務所

URL：<http://www.akai-tantei.com/>

TEL：0120-96-0061

Mail：info@akai-web.com
